

# 新たな文化施設に関する整備構想

秋田県・秋田市

# 目次

第1章 整備構想策定の趣旨	
1 整備構想策定の背景	1
2 整備構想の策定	1
3 整備構想の性格	2
第2章 文化施設の現状と課題	
1 文化振興に関する県民・市民の意識	3
2 本県の文化施設の設置状況	4
3 秋田県民会館の現状と課題	4
4 秋田市文化会館の現状と課題	7
第3章 新たな文化施設の整備の必要性	
1 施設を取り巻く状況	10
2 整備の必要性	10
第4章 新たな文化施設に求められる機能と整備すべき施設機能	
1 県民会館・市文化会館が文化振興に果たしてきた役割	12
2 新たな文化施設の役割と担う機能	13
3 整備すべき主たる施設機能	14
第5章 立地環境	
1 基本的考え方	16
2 郊外及び市街地の一般的な比較	16
3 求められる立地環境	16
第6章 市町村文化会館の活性化に向けた取組	
1 情報発信力の強化	18
2 文化の鑑賞機会の拡充	18
3 文化施設の集客力を地域に波及させる取組	19
参考資料	
秋田県・秋田市文化施設整備構想検討委員会設置要綱	23
秋田県・秋田市文化施設整備構想検討委員会委員	24
文化施設整備構想の検討経過	25
秋田市の都市計画における文化施設の位置づけ	26
最近整備された県立文化施設の概要	27
全国公立文化施設一覧（メインホール2,000席以上）	28
県内公立文化施設一覧（メインホール500席以上）	29
文化施設調査の概要	30
プロモーター等インタビュー調査の概要	31
東北6県の主な文化施設の駐車場の設置状況	32

## 第1章 整備構想策定の趣旨

### 1 整備構想策定の背景

#### (1) 国の文化政策の動き

平成13年12月に、国は、積極的な文化行政を展開し、心豊かな国民生活及び活力ある社会の実現に寄与していくため、文化芸術の振興に関する施策を総合的に推進するための基本理念を定めた初めての法律である「文化振興基本法」を制定し、国や地方自治体等の役割を明記した。

平成24年6月には、地方において、文化施設が劇場や音楽堂として十分に機能が発揮されておらず、多彩な実演芸術に触れる機会が少ない等の課題を踏まえ、「劇場、音楽堂等の活性化に関する法律」を定め、地方の文化会館等の劇場等が有効に活用されることで実演芸術の振興が図られ、心豊かな国民生活及び活力ある地域社会の実現に寄与していくため国・地方の役割を明確にし、取り組むべき事項などを明らかにしている。

この法律の制定に合わせ、劇場・音楽堂等活性化事業が創設され、地方の劇場・音楽堂等の文化ホールの活性化に向けた支援が強化されるなど、文化振興関連予算も厚みを増してきている。

このような状況の中、近年、日本のいくつかの地域では、新たな理念のもとに、文化ホールを単にイベント開催の会場として捉えるのではなく、住民自らが活発に活動すること、交流拠点、地域活性化としての機能を十分に考慮し、整備前から運用も含めて検討することで、有用性の高い施設を目指そうという動きが見られるようになってきている。

#### (2) 県・市の文化施策の展開

県は、国民文化祭の開催が決まったことを受け、平成23年8月に「あきた文化ルネサンス宣言」を行い、「アキタ・ミュージックフェスティバル」や「KAMI KOANIプロジェクト秋田」などの取組も展開しながら、「地域の文化力を高め、文化の力で地域を元気にする」ことを基本理念とし、国民文化祭を開催することにしている。

また、秋田県の中心都市として秋田県経済や文化をリードしてきた秋田市は、平成20年度に中心市街地活性化基本計画を策定し、美術館やアトリオン、県民会館など文化施設が集積する中心市街地に、新県立美術館やにぎわい交流館を中核とした「エリアなかいち」を整備するなど、「歴史と文化を生かした街づくり」に取り組んでいる。

### 2 整備構想の策定

ここ数年、県・市ともに文化振興に力を入れて取り組んでいる中であって、その振興を図って行く上で、大きな役割を果たす県民会館及び秋田市文化会館ともに、施設として

## 第1章 整備構想策定の趣旨

---

課題を抱えている。

県内最大規模の収容規模（1,839席）を誇る秋田県民会館については、築後52年が経過し施設の老朽化が進んでいるほか、舞台が狭く、楽屋数も少ないこともあり、若者を集客できるコンサート、舞台装置が大がかりなオペラや演劇等を実演できないなど、様々な課題を抱えている。

また、秋田市文化会館についても、築後33年が経過しており、耐震補強など大規模改修が必要となっている。

そのため、これらの施設に替わって、ホールに加え、コンベンション機能も備えた文化施設を県市共同で整備していくため、新たな文化施設に関する整備構想を策定する。

### 3 整備構想の性格

整備構想は、新たな施設を整備するとした場合、施設に求められる役割や主な施設機能、他圏域に効果をもたらす施設のあり方などに関し、全県的な視点に立って、基本となる考え方を包括的に取りまとめるものである。

## 第2章 文化施設の現状と課題

### 1 文化に関する県民・市民の意識

整備構想を策定するにあたり、県・市共同で県民 3,000 人(うち秋田市 1,000 人)を対象に「文化振興に関する県民・市民意識調査」を実施した(有効回答者数 1,602 人(うち秋田市 525 人))。

この調査によると、日常生活で芸術を鑑賞するなど文化活動を大切だと考える人は 87.1% (秋田市 87.1%) となっており、大多数の県民・市民が文化活動を重要視している結果となった。

その主な理由として「生活に潤いを与える」66.0%(秋田市 69.9%)、「教養を深め、人間性を高める」55.5% (秋田市 62.1%) の次に「人の交流を生みだし、地域に活気をもたらす」43.3% (秋田市 42.3%) となっており、文化による元気創出への期待が伺われる結果となっている。

#### 「文化振興に関する県民・市民意識調査」結果(抜粋)

##### 〈芸術を鑑賞したり、自ら文化活動を行ったりすることの重要性〉 (%)

	全県(1,602 件)	秋田市(525 件)
非常に大切だ	21.8	26.7
ある程度大切だ	65.3	60.4
あまり大切ではない	5.1	5.3
全く大切ではない	1.1	1.0
わからない	6.4	6.5

※ 無回答があるため合計は 100%にならない

##### 〈文化が果たす役割〉 (複数回答)

(%)

	全県(1,602 件)	秋田市(525 件)
楽しさや感動を与え、生活に潤いを与える	66.0	69.9
教養を深め、人間性を高める	55.5	62.1
文化への理解が進み、地域への誇りや愛着を増進する	30.8	30.1
芸術文化に感動する心が、人々をつなぎ、地域の結びつきを深める (地域の連帯感が強くなる)	31.0	28.6
芸術文化に触れることを通して、地域の子も達がはぐまれる	31.3	31.0
人の交流を生み出し、地域に活気をもたらす	43.3	42.3
特になし	4.1	4.4
その他	1.2	1.5

また、文化芸術に文化施設が果たす役割についてどのように考えるかに関しては、「非常に大切だ」、「ある程度大切だ」とする回答が合わせて 80.7% (秋田市 83.6%) となっている。

〈文化芸術の振興を図っていくうえで、文化施設が果たす役割〉 (%)

	全県(1,602件)	秋田市(525件)
非常に大切だ	28.2	37.9
ある程度大切だ	52.5	45.7
あまり大切ではない	7.6	7.0
全く大切ではない	2.8	4.0
わからない	6.7	3.8

※ 無回答があるため合計は100%にならない

アンケート調査によっても、県民・市民の文化活動への関心は高く、文化施設が文化振興上に果たす役割についても重視している結果となった。

## 2 本県の文化施設の設置状況

秋田県内の全ての市町村が何らかの公立の文化施設を設置しているが、そのうち、文化ホールと分類される施設は15施設となっている。昭和の時代に整備されたものも多く、建築後20年以上を経過したものが11施設あり、このうち30年を経過している施設も9施設となっている。

施設の稼働率については、平成24年度に一般社団法人全国公立文化施設協会が実施した「劇場、音楽堂等の活動状況に関する調査研究報告書」によると、平成23年度の全国の公立文化ホールの稼働率は平均で62.9%（回答1,049施設）であり、秋田県民会館及び、秋田市文化会館はこの数値を上回っているものの、秋田市以外に設置された施設では、全国平均を上回っているのは3施設にとどまっている。

## 3 秋田県民会館の現状と課題

### (1) 施設の概要

竣工年月日	昭和36年9月30日
開館日	昭和36年11月6日
建設費	411百万円
構造	鉄筋コンクリート造 地上4階地下1階建
延床面積	5,779.79㎡
収容人員	大ホール 1,839席（1階1,192席、2階647席）
舞台	幅19.8m、奥行11.4m、高さ8m
施設構成	大ホール、楽屋4、会議室3、展示室1、大会議室1 【ジョイナス分】小ホール1、研修室8、練習室3
指定管理者	H18～22、H23～27 (財)秋田県総合公社

### (2) 利用の状況

#### ① 稼働率等

これまでの利用者数は、東日本大震災があった平成23年を除けば概ね年間15万

人前後で推移しており、秋田市の中心市街地の賑わいづくりにも貢献している。

過去3年間の稼働率は70%～80%台となっており、全国と同規模の施設と比較しても高い利用率となっている。

この最大の要因は、本県が中学校、高等学校など学校教育での吹奏楽が盛んであり、その利用が多いことにある。

区分	項目	平成22年度	平成23年度	平成24年度
大ホール (1,839席)	利用可能日数	240	209	293
	利用日数	203	169	218
	稼働率	84.6%	80.9%	74.4%
	利用人数	142,181	110,949	167,772

### ② 利用回数

過去3年間の全体の利用回数は、平成23年を除いて、200回以上となっており、年平均では、208回となっている。そのうち、興業を含めた音楽関係の利用が約75%を占めており、中でも学校・県内団体利用は、全体の46%を占めている。

また、秋田県吹奏楽連盟が主催する各種の催しは、全県を対象としたものとなっている。

次いで多いのが、興業の46回で22%を占めており、観客は秋田市を中心としつつも、県内各地からの集客となっている。

学会・大会では、秋田県身体障害者福祉大会や戦没者追悼・平和祈念式典のように全県規模で毎年継続して開催されているものに加え、全国レベルの学会や大会も行われている。

(単位：回)

年	音楽関係				音楽関係以外					計
	興業	学校 県内団体	イ ベ ン ト	小計	興業	学校 行事	学会 大会	その 他	小計	
H22	32	88	22	142	15	8	40	10	73	215
H23	26	94	19	139	5	8	21	2	36	175
H24	51	105	29	185	10	11	29	0	50	235
平均	36	95	23	155	10	9	30	4	53	208
%	17.4	46.0	11.2	74.6	4.8	4.3	14.4	1.9	25.4	100

※ 一日2公演の場合もあるため、アの利用日数とイの利用内容の行事数は一致しない。

### ③ 規模別開催状況

収容定員の約9割にあたる1,600人以上の入場者のイベントは、年平均で36回(17.3%)となっており、そのうち音楽関係は年平均30回(14.4%)となっている。なお、1,300人以上までのイベントを含めると、57回で、全体の30%弱となっている。

## 第2章 文化施設の現状と課題

他方、入場者数 500 人未満のイベントは年平均 91 回 (43.8%) となっているものの、このうち、学校の吹奏楽の練習が半分近くを占めている。

(単位：回)

人 年度	全体					計
	～499	500 ～ 899	900 ～ 1,299	1,300 ～ 1,599	1,600～	
H 2 2	103	32	20	30	30	215
H 2 3	77	24	24	20	30	175
H 2 4	92	39	27	28	48	234
平均	91	32	24	26	36	208
%	43.8	15.4	11.5	12.5	17.3	100.0

※平均欄及びその%は端数処理のため、計と一致しない。

### (2) 主な課題

県民会館は、築後 52 年を経過し、施設・設備の老朽化に伴い、鑑賞者や施設利用者の多様化・高度化するニーズに、機能が十分に対応できない状況になっている。

舞台周り	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スペースが不足している等の理由で、複数のセットを利用する場合面転換のある出し物は難しい</li> <li>・バトン数が不足しているため、吊り下げ用のセット・幕、ピンスポットライト、ムービングライト等も制限され、同規模の他施設なみの演出ができない</li> </ul>
楽屋	3つの楽屋しかなく、トイレ・シャワー付きの部屋もないため、上演者が多い場合には、館内 1 F 小会議室、展示室を臨時使用せざるを得ない状況となっている。
照明	舞台上照明はホール天井部に 1 列配置、不足分は両サイド照明で補正、ピンスポットルームは設備不足
搬入口	屋外搬入で雨よけに搬入部分に短い庇があるが十分ではない。搬入口～土手側ガードレールまでの距離約 13m 大型車の乗り入れが困難である。
空調設備	空調が 1 階、2 階の別途制御できない構造となっており、効率性が悪いほか、全体の空調管理も難しい
ホワイエ	ホワイエが狭く、観客が滞留できるスペースが不十分である。物販ブースも必要スペースを設けられないため、確保しづらい。
その他	席数 1,839 人の規模に対し、女性用トイレ数は、30 と極端に少ない。(座席数 700 人のアトリオンホールの場合、女性用は 47)



## 4 秋田市文化会館の現状と課題

### (1) 施設の現況

#### ① 施設の概要

竣工年月日	昭和55年4月30日
開館日	昭和55年6月28日
建設費	3,564.5百万円
構造	鉄骨鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造 地上5階、地下1階、塔屋2階
延床面積	14,284㎡
収容人員	大ホール 1,188席（1階884席、2階304席） 小ホール 400席
大ホール舞台	幅16m、奥行15m、高さ8m、
小ホール舞台	幅8m、奥行6m、高さ5m
施設構成	大ホール（楽屋6）、小ホール（楽屋4）、展示ホール、大会議室、練習室2、リハーサル室、第1会議室、託児室 【サンプル分】 講堂2、洋室3、和室4、茶室、音楽室、調理室、陶芸室、工作室、談話室
管理手法	直営（職員5人、嘱託4人）

### (2) 利用の現状

#### ① 稼働率等

市文化会館の過去3年間の稼働率は大ホールが60%台～70%台、小ホールが50%台～60%台となっている。

大ホールは、市内の音楽、演劇関係団体の利用が多く、公演およびその練習場所として活用されることから、比較的高い利用率となっていると思われる。

小ホールは、客席数（収容人数）から、比較的小規模な講演会や集会での使用が多い状況となっている。

区分	項目	平成22年度	平成23年度	平成24年度
大ホール (1,188席)	利用可能日数	292	301	251
	利用日数	188	201	184
	稼働率	64.4%	66.8%	73.3%
	利用人数	110,720	100,369	95,873
小ホール (400席)	利用可能日数	292	301	248
	利用日数	157	175	160
	稼働率	53.8%	58.1%	64.5%
	利用人数	32,133	27,981	32,906

## 第2章 文化施設の現状と課題

### ② 利用内容

大ホールは、音楽関係が 17.1%、演劇関係が 11.1%と高い割合を示しており、興行のほか学校行事の会場としても利用されている。また、練習での使用が 26.9%となっており、市民の芸術文化活動の拠点として、芸術文化団体や学校の発表および練習の場として多岐にわたり利用されている。

小ホールは、音楽関係の利用が 25.9%ともっとも高いが、講演・講義が 18.8%、集会式典が 16.5%となっており、大ホールに比べて官公庁や法人が開催する講演行事での利用割合が高くなっている。

(単位：回)

#### 大ホール

年度	音楽	舞踊	演劇	伝統芸能	大衆芸能	総合芸術	映画	練習	講演講義	集会式典	その他	計
22年度	43	10	24	9	2	14	3	56	15	18	22	216
23年度	37	12	25	13	5	4	1	51	18	22	28	216
24年度	32	10	23	10	4	10	0	68	9	20	31	217
平均	37	11	24	11	4	9	1	58	14	20	27	216
割合(%)	17.1	5.1	11.1	5.1	1.8	4.2	0.5	26.9	6.4	9.3	12.5	100.0

(単位：回)

#### 小ホール

年度	音楽	舞踊	演劇	伝統芸能	大衆芸能	総合芸術	映画	練習	講演講義	集会式典	その他	計
22年度	47	1	10	5	1	6	10	13	35	24	17	169
23年度	49	1	7	10	1	5	9	7	34	26	26	175
24年度	37	1	6	7	0	4	9	21	28	34	19	166
平均	44	1	8	7	1	5	9	14	32	28	21	170
割合(%)	25.9	0.6	4.7	4.1	0.6	2.9	5.3	8.2	18.8	16.5	12.4	100.0

### ③ 規模別開催状況

大ホール(客席数 1,188 席)では、もっとも多い開催規模は、300 人未満が 44.9%となっているが、このうち半数が吹奏楽の練習、演劇発表会など学校関係の使用となっている。また、900 人未満の規模のものが 81.0%となっており、大ホール 1 階席 884 席でほぼ対応可能な規模での使用が多い状況となっている。

900 人以上の規模のものは、プロモーターによる興行、または官公庁による公演などとなっており、客席数から大規模な興行には対応できないことから、使用者が限られていると考えられる。

小ホール(客席数 400 席)では、もっとも多い開催規模は、100 人未満が 36.4%。次いで 300 人以上が 25.9%となっており、いずれにおいても、地元の芸術文化団

体や演劇団体の発表の場としての活用が多く見られる。

(単位：回)

人 年度	大ホール					小ホール				
	～ 299	300 ～ 599	600 ～ 899	900 ～	小計	～ 99	100 ～ 199	200 ～ 299	300 ～	小計
22年度	93	31	47	45	216	56	40	30	43	169
23年度	89	45	45	37	216	69	42	27	37	175
24年度	110	32	33	42	217	62	27	26	51	166
平均	97	36	42	41	216	62	36	28	44	170
%	44.9	16.7	19.4	19.0	100.0	36.4	21.2	16.5	25.9	100.0

### (3) 主な課題

施設・設備	<p>築33年を経過しており、調光等の舞台関係のほか、空調、給排水等設備のほとんどは耐用年数を経過しているため、突発的な故障による催事への影響が懸念されることから大規模改修が必要</p> <p>平成17年度の耐震診断調査の結果では、耐震補強を要するとの診断が出ている</p>
舞台周り	<p>大小ホール舞台の調光設備については、平成24年度に更新したが、舞台床周りの照明機器の劣化や音響設備の更新など、根本的な対応が必要</p>

## 第3章 新たな文化施設の整備の必要性

### 1 施設を取り巻く状況

#### (1) 老朽化が著しい施設

秋田県民会館は、県内最大の収容定員を誇る文化施設として、県民への鑑賞機会の提供や、音楽団体を中心とした発表の場として、全県を対象とした催し物も多く開催され、年間70%～80%台という高い利用実績のもと、本県の芸術文化の振興を図る中核施設として、県民に親しまれ利用されてきた。

秋田市文化会館も、1,188席の大ホールと400席の小ホールを有し、演劇やバレエなどの舞台芸術から、伝統芸能、講座・講演など、幅広い市民ニーズに応え、市民の文化活動の場としての役割を果たしてきた。

しかし、県民会館は築後52年が経過し、施設全体の経年劣化が進んでおり、鑑賞や施設利用者のニーズに十分対応できない施設でとなっているほか、車イス用のスロープが急傾斜であり、また、一階客席後部の出入口が急な階段になっているなど、構造上の課題も有している。

市文化会館も築後33年が経過し、老朽化の進行と併せ、耐震補強や給排水施設の更新など大規模な改修が必要な状況にあり、今後も引き続き使用する場合には、多額の維持・改修経費を要する。

#### (2) 厳しくなる財政下での施設の維持管理

秋田県では、人口減少に歯止めがかからず、全国で最も早いスピードで高齢化が進んでいる中で、財政を取り巻く状況も年々厳しさを増している。今後、施設や設備の改修経費等を十分に確保できない恐れもあり、結果として維持管理コストの増大につながり、施設が本来果たすべき機能が更に脆弱となる可能性もある。

多額の経費が見込まれるプロジェクトにあつては、特に施設の管理運営をも見込んだ効率的・効果的な取組が必要となる。

### 2 整備の必要性

#### (1) 存在しない代替施設

県民会館及び秋田市文化会館は老朽化など様々な課題を抱えているが、秋田市内の現存する施設の中で、この二つの施設に替わる機能を果たし得る施設は存在しないことから、施設整備は取り組まなければならない課題である。

#### (2) 新たな文化施設の可能性

「文化振興に関する意識調査」では、新しい文化施設に期待する項目として「流行のアーティストの公演」が最も高い割合を占めている。音楽イベントのプロモーターへの聞き取り調査では、新たな文化施設の整備により、有名アーティストの公演やツアーコ

ンサートは増えるとの見解が寄せられている。

また、コンベンションに関しても複数の会場での開催を余儀なくされているものの、ここ数年増加傾向にある。

新たな文化施設において、これまでにないコンサートの開催、一定規模の会議・大会の開催に対応できる機能を付加することで、従前の施設では成し得なかった様々な取組が可能となる。

### (3) 県・市協働プロジェクトとしての意義

今後の県・市を取り巻く状況を鑑みた場合、県・市が協働で、新たな文化施設の整備を進め、施設の管理運営にもあたるとは、それぞれ別々に整備を行うよりも有益であり、行財政改革の観点からも有用な取組と考えられる。

県・市協働プロジェクトは、各自治体における公共施設の維持管理が増大し、大きな行政課題となってくる中で、我が国における今後の一つのモデルにもなり得る意義のある取組といえる。

以上のことを勘案すれば、新たな文化施設を県・市が協働して整備していくことは、文化の振興はもとより、地域の賑わい創出を図っていくことでもその意義は大きく、適切なものとする。

施設の整備にあたっては、高齢化の進行や人口減少など、今後の社会情勢の変化を見据え、県民会館と市文化会館が果たしてきた役割を踏まえつつ、既存の文化施設との役割分担を図ることで、コンパクトな施設構成とする中で、より高度な機能を持たせ、地域や社会の要請に応えたものとしていくこと。

## 第4章 新たな文化施設に求められる機能と整備すべき施設機能

### 1 県民会館・市文化会館が文化振興に果たしてきた役割

県民会館及び秋田市文化会館は、自主事業などを通じた文化の創造、施設運営に携わる人材育成、文化芸術の情報発信などに関しては課題を残しているものの、文化施設として、「発表の場」の提供や「鑑賞機会」を提供し、文化の振興や、多数を集客できる施設として、街の賑わいづくりにも貢献している。

#### (1) 「発表の場」の提供

- ① 県民会館は、県内中高生やアマチュアの吹奏楽団体や合唱団などの音楽関係団体にとり、県内での最高の発表の舞台であり、他県に比しても高い水準と言われる吹奏楽をはじめとし、音楽文化の質的向上や裾野の拡大に貢献してきた。(平成24年度、県内音楽団体等の利用回数101回)
- ② 市文化会館は、舞踊関係団体や演劇団体などに広く活動の場を提供してきた(平成24年度、大ホールの利用回数23回)。また、多くの文化団体の活動拠点となっており、芸術文化に携わる市民が集うことで、情報発信、文化の継承の場として機能してきた。

#### (2) 「鑑賞機会」の提供

- ① 秋田県民会館は、NHK交響楽団や日本フィルハーモニー交響楽団のクラシックコンサート、松竹大歌舞伎や舞台公演、芸能人のコンサートなど、全県規模で集客できる幅広い分野の鑑賞機会を提供してきた。  
なお、秋田市内には、両施設以外に1,000人以上の収容能力を持つ文化施設は存在しないため、国内外のアーティストの興行系コンサートの会場にもなっている。(平成24年度興行系コンサート開催回数 県民会館61回、市文化会館40回)
- ② 秋田市文化会館は、秋田県民会館に次ぐ規模の文化施設として、昭和55年の開館以来、比較的大掛かりな舞台を必要とするバレエなど、舞台芸術を中心とした公演の鑑賞機会を提供してきた。
- ③ 昨年9月、秋田市文化会館において、秋田市内の小中学生が、秋田市と友好交流のある中国甘肅省蘭州市の蘭州大劇院の歌舞劇を鑑賞する機会があり、文化施設の存在は、子ども達が一流の芸術を鑑賞する機会につながっている。子ども達は、質の高い芸術文化に触れることで、それぞれの個性や創造性の芽を育み、文化的活動への興味と意欲を醸成することとなり、こうした体験を増やすことが本県の文化的な土壌を豊かにしていくことにつながると考えられる。

## 2 新たな文化施設の役割と担う機能

新たな文化施設は、「秋田の文化力を高め、文化の力で地域を元気にしていく」ため、「文化創造に向けた取組の活発化」、「文化に触れる機会の拡充」、「人が集う「場」を創出することで地域の活性化に貢献」するという、3つの役割のもと、それぞれの機能を果たしていく。

### (1) 文化創造に向けた取組の活発化を図っていく

県民・市民が集い、「創造」、「練習」、「発表」という各ステージで、優れた環境を提供し、創造的な活動を促進していく。

#### ① 最高の舞台での実演芸術の発表の場

県民会館が、県内中高生の吹奏楽団体が県内で演奏するための最高の舞台を担ってきたように、県内の芸術文化団体が、そこで発表することを目標とし、技芸を磨くことで、本県の実演芸術の水準の向上につながる多様な文化芸術活動の「発表の機会」を提供する。

#### ② 文化の創造の場

県市による文化活動への支援に加えて、施設運営者が積極的に外部資金を確保しながら、文化創造に向けた取組を県民・市民と一体となって積極的に推進していくとともに、民間団体等の多様な活動のサポートや学校教育との連携も強化しながら、日常的な芸術・文化活動の活発化を図っていく。

#### ③ 全県をカバーする文化施設としての機能発揮

本県の芸術文化の発信や県内文化会館の一元的な情報発信を可能とする「文化情報センター」的な機能を備えるとともに、県内文化施設間におけるネットワーク事業の取組、様々な文化情報の収集や市町村文化会館に対する情報提供、相談窓口など、全県をカバーする文化施設としての機能強化を図る。

### (2) 文化に触れる機会の拡充を図っていく

芸術鑑賞は、多くの人にとって「ハレの日」の特別な活動である。新たな文化施設は、こういった活動を充実させていく役割を担う必要がある。そのため、これまで秋田では開催できなかった若者を多数集客できるコンサートなど、国内外の一流のアーティストによる実演芸術を数多く開催することで、県民・市民の芸術文化に触れる機会を拡充し、本県の文化の裾野を広げる。また、全県の文化施設をカバーすることで、県内全域の文化鑑賞の機会の充実を支援する。

#### 質の高い芸術鑑賞機会の提供

質の高い文化芸術に触れる機会が少なかった県民・市民の文化の裾野を広げていく

## 第4章 新たな文化施設に求められる機能と整備すべき施設機能

ため、これまでは秋田仕様（カットバージョン）でしか公演できなかった若者を引きつける大型コンサートや大掛かりな舞台演劇に加え、ミュージカル、オペラなど国内外のアーティストによる実演芸術の上演など、「鑑賞機会」の充実を図る。

### （3）人が集う「場」を創出することで、地域の活性化に貢献する

#### ① 気軽に立ち寄れる施設

県民・市民が気軽に立ち寄れる多機能な空間を確保するため、例えばエントランスロビーなどのスペースを活用して、各市町村文化会館の催事情報の提供や本県を代表する伝統文化の紹介コーナー、ミニコンサートやギャラリー的な機能を設ける。

#### ② 地域の賑わい創出

また、コンベンションの開催誘致にも力を入れることで、交流人口の拡大にも貢献し、本県の文化振興はもとより、地域の元気創造の一翼を担う施設としながら、文化の薫る施設として、秋田市における街並み形成にも資するものとする。

### 3 整備すべき主たる施設機能

#### （1）基本的な考え方

新たな文化施設においては、県民会館及び秋田市文化会館が果たしてきた役割は継承するものの、施設構成の面では、既存施設等も含めた多様な活用を図ることで、コンパクトな施設を目指す。

県民会館大ホールおよび市文化会館大ホールの機能は、高機能型、舞台芸術型の二つのホールが継承し、市文化会館小ホールについては、舞台芸術型ホールとアルヴェやにぎわい交流館等既存施設の活用促進により、その機能を維持する。

#### （2）主な施設構成

本県の文化振興を図っていく中核施設に相応しい機能を発揮できるようにするため、基本となる施設構成は二つのホールとし、それぞれの役割分担を明確にすることで、県民・市民のニーズに十分に答えられるものにする。

### 高機能型ホール

#### ① 主な用途

クラシックなどの音楽鑑賞はもとより、発表の場として、音響効果やステージ機能を高度化することで、これまで秋田では上演できなかった若者を多数集客できるポップス、ロック等のコンサートやフルバージョンでの演劇、歌舞伎等の舞台芸術の上演

#### ② 舞台や設備

ホールの主舞台は、大掛かりな舞台の仕掛けにも十分対応できるステージとバックヤードを持つものとする。また設備に関しては、最新のホールが標準的に装備しているものを備える（ボタン数や照明の設置場所など県民会館の課題をクリアした設備）



③ 客席数

1,800～2,200席

**舞台芸術型ホール**

① 主な用途

質の高い舞台芸術（舞踊、演劇など）の実演

② 主な設備

観客が舞台と一体感を持って鑑賞できる空間とする。

質の高い舞台芸術が実演可能な舞台とし、舞台床周り照明、音響などグレードの高い設備を備える。

③ 客席数

800～1,200席

**〈共通事項〉**

これら二つの施設に付随して、高機能型、舞台芸術型の各ホールの舞台と同程度の広さを有するリハーサル室を設けるほか、楽屋については、専用のトイレ、シャワーを備え、一定規模の数や広さを確保し、大勢の出演者にも対応できるようにする。また、必要十分な女性用トイレなど、所要の施設を整備する。

加えて、大会・会議等に関連する商品・製品などの展示会、分科会用の会議室、レセプション等の開催のほか、美術作品をはじめとする各種の展示が可能となる多目的なスペースを確保する。

これら以外の施設に関しては、構想の具体化に併せ検討する。

**(3) コンベンションへの対応**

秋田市以外の東北の県庁所在市は、全て2,000人以上のコンベンションに対応できる施設を有している。

そこで、高機能型ホール（1,800席～2,200席）と舞台芸術型ホール（800席～1,200席）を活用することで、高機能型ホールをメイン会場とし、舞台芸術型ホールには大型モニターを設置し、サブ会場として利用することで、3,000人程度までの各種大会・会議などに対応できるようにする。

商品・製品の展示会、分科会、レセプション等の開催については、多目的スペースを活用する。

## 第5章 立地環境

### 1 基本的考え方

大規模な公共施設の整備に際しては、当該施設の立地環境が大きな議論となるが、大別すれば郊外と市街地のどちらに設置するかに集約される。それぞれにメリット、デメリットがあるが、「文化の力で地域を元気にしていく」上で、施設整備の効果を最大限発揮していく視点から考える必要がある。

なお、県民会館、市文化会館は、いずれも現地での立て替えは長期間施設の利用ができないなど、デメリットが大きいことから困難と考えている。

### 2 郊外及び市街地の一般的な比較

	メリット	デメリット
郊外	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土地が安価であり、広い土地の取得も容易と思われ、比較的余裕のある施設空間や駐車場の整備が可能となる。</li> <li>・自動車でのアクセスは容易となるケースが多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・郊外には文化施設が少ないことから、他の施設との連動性や連携は難しくなる</li> <li>・秋田市が掲げるコンパクトなまちづくりの方向性とは異なったものとなる。</li> <li>・バス等の公共交通機関によるアクセスは比較的不便となる。</li> </ul>
市街地	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化施設をはじめ都市機能が集積しており、他の施設との連動性や連携が容易になる。</li> <li>・秋田市のコンパクトなまちづくりの方向性と一致し、街の賑わい創出にも貢献できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・駐車場用地を含め余裕のある空間構成が制約される可能性がある。</li> </ul>

### 3 求められる立地環境

新たな文化施設の立地環境について、重視すべきは、次の視点である。

- (1) 文化振興を図っていくことはもとより、交流人口の増大を図り、街の賑わい創出にも寄与する。
- (2) 既存の文化施設との連動性を確保することで、「文化芸術ゾーン」を形成し、魅力ある街づくりにも資する。
- (3) 少子高齢化、人口減少の進展を見据え、秋田市が進めている、コンパクトで成熟した市街地の形成にもつなげていく。

建設予定地をどこに求めるかで、「市街地」「郊外」のメリット、デメリットの評

価も微妙に変わる可能性もあるが、今後ますます少子高齢化が進む中で、新たな文化施設の整備は、県民・市民の利便性に最大限配慮するとともに、文化の薫る街づくりを進めながら、賑わい創出にも貢献していく必要がある。

以上のことを勘案すれば、新たな文化施設の立地環境は「市街地」が適当である。

駐車場については、バス等の公共交通機関の充実を図りながら、施設規模に応じた専用駐車場の整備や周辺民間駐車場の活用促進により確保することとする。

(参考)

「秋田市建築物における駐車施設の附置等に関する条例」では、施設規模に応じた専用駐車場の整備が義務づけられており、文化施設の場合には床面積150㎡あたり1台の駐車場の設置が必要とされている。



## 第6章 市町村文化会館の活性化に向けた取組

新たな文化施設は、県立の施設としての性格を有していることから、整備にあたっては、秋田市のみならず、市町村の文化会館の活性化にも資するものとするため、新たな文化施設が中核的な役割を果たしていく。

### 1 情報発信力の強化

新たな文化施設には、「文化情報センター」的な機能も付加し、各文化会館との多様な連携を進めていくことで、文化の情報発信力を強化する。

#### (1) 文化施設に関する一元的な情報発信

県内各文化施設の催事や文化イベントに関する情報を一元的に提供し、文化施設の活動を支援する。

#### (2) 文化団体・文化施設の連携強化

新たな文化施設と他の文化施設が連携し、文化施設におけるネットワーク事業、国等の文化事業の情報提供や取りまとめ、文化会館に携わる人材育成等に積極的に取り組んでいく。

#### (3) 芸術文化の発信

本県を代表する伝統文化の紹介や市町村の主な民俗芸能などの情報を紹介するコーナーを設ける。

### 2 文化の鑑賞機会の拡充

十分な鑑賞機会が確保されていない市町村の文化会館と連携し、機会の拡充を図っていく。

#### (1) ツアー型コンサートの誘致

興業主等へのインタビュー調査では、ツアー型のコンサート等は、採算性の面から、近隣地での連続した開催が望ましいという意見もあった。

ツアー型コンサート等を多数、秋田市内に誘致できれば、県内他市の1,000人規模の収容能力を持つ中規模ホールでコンサートの開催の可能性も生じることから、誘致を積極的に図っていく。

#### (2) 県内各文化会館との連携による鑑賞機会の充実

また、国等の補助事業には、いくつかの文化会館が共同で同じコンサート等を実施することを条件に助成対象とするというメニューもある。

新たな文化施設では、県内各地の文化会館の意向を取りまとめ、こういった企画を先導していくことで、他圏域への質の高い実演芸術の鑑賞機会の提供につなげていく。

### 3 文化施設の集客力を地域に波及させる取組

#### 文化・芸術イベントや大規模な大会・会議の誘致

全国ツアーを展開する有名アーティストには、特定のファン層がおり、県外からの大勢の集客も期待できることから、集まった観客が県内施設に宿泊し、その後県内各地に観光で訪問することも期待される。

また、大規模な大会・会議においては、県外から多くの参加者が訪れ、宿泊はもとより飲食や県産品の購入など大きな経済効果をもたらす。

大規模な文化施設の整備に伴い、有名アーティストの公演はもとより、文化・芸術団体の全国大会や大規模な大会・会議を積極的に誘致することで、秋田市にとどまらず県内全域への経済波及効果が期待できることから、エクスカージョンの実施を、関係市町村と連携して働きかけていくことで、波及効果を積極的に取り込んでいく。



# 参考資料





## 秋田県・秋田市文化施設整備構想検討委員会設置要綱

### (目的)

第1条 秋田県及び秋田市が整備を進める新たな文化施設の整備構想策定にあたり、広く文化に関して識見を有する者等（以下「有識者等」という。）から意見を聴くため、「秋田県・秋田市文化施設整備構想検討委員会」（以下「委員会」という。）を設置する。

### (検討事項)

第2条 委員会の委員は、次の事項について検討し、意見を述べる。

- ① 秋田県及び秋田市の文化施設の整備に関すること
- ② その他文化施設の整備に関連した文化施策全般に関すること

### (組織)

第3条 委員会は、委員16人以内で組織する。

- 2 委員会の委員は、秋田県知事及び秋田市長が任命する。
- 3 委員の任期は、任命の日から整備構想策定の日までとする。

### (委員長)

第4条 委員会に委員長を置き、委員の互選により選任する。

- 2 委員長は、委員会を代表し、会務を総理する。

### (会議)

第5条 委員会は、委員長が招集する。

- 2 委員長は、会議の議長となる。
- 3 委員長は、必要があるときは、委員会の委員以外の者の出席を求め、意見を聴くことができる。

### (事務局)

第6条 委員会に関する庶務を担当させるため、事務局を秋田県文化振興課及び秋田市企画調整課に置く。

### (委任規定)

第7条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営その他に関する必要な事項は、委員長が別に定める。

### 附 則

この要綱は、平成25年7月16日から施行する。

秋田県・秋田市文化施設整備構想検討委員会委員

	氏名	備考
1	青木 隆吉	一般社団法人秋田県芸術文化協会理事長
2	池村 好道	秋田大学副学長
3	打川 敦	横手市観光協会会長
4	小国 輝也	公益財団法人秋田観光コンベンション協会評議員
5	加賀屋 久人	公益社団法人秋田青年会議所理事長
6	川村 泉	藤井バレエ団・川村泉舞踊団代表
7	佐藤 政則	秋田市商店街連盟副会長
8	柴田 誠	秋田商工会議所専務理事
9	銭谷 眞美	東京国立博物館館長
10	高野 豊昭	秋田県吹奏楽連盟会長
11	武内 伸文	SiNG代表
12	野呂 陽一	大館市立中央図書館館長
13	羽川 正	(社)秋田市文化団体連盟会長(第2回まで)
	寺田 美恵子	(社)秋田市文化団体連盟会長(第3回以降)
14	藤盛 節子	秋田工業高等専門学校非常勤講師
15	松渕 秀和	一般財団法人秋田経済研究所所長

文化施設整備構想の検討経過

開催月日	検討委員会における検討項目	県民等意見の調査
平成25年8月7日	第1回検討委員会 ○文化振興及び文化施設のあり方について	○県民アンケート調査実施 (8月7日～8月26日)
平成25年9月4日	第2回検討委員会 ○新たな施設の整備の必要性について	○先進地調査 ○有識者インタビュー調査
平成25年10月16日	第3回検討委員会 ○新たな文化施設の役割と機能について ○県民アンケート調査及び先進地調査 結果の報告	
平成25年11月21日	第4回検討委員会 ○新たな文化施設の立地環境について	
平成25年12月26日	第5回検討委員会 ○整備構想(素案)について	○整備構想(素案)の パブリックコメント (12月17日～1月17日)
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">                     平成26年1月 20、22、23日                      文化団体等県民との意見交換会                 </div>		
平成26年2月4日	第6回検討委員会 ○整備構想(案)について	

## 秋田市の都市計画における文化施設の位置づけ

### 【第1 2次秋田市総合計画（H23.3 策定）から】

#### 2章「緑あふれる環境を備えた快適なまち」

##### 第2節 都市基盤の確立

市街地の無秩序な拡大を抑制し、森林、農用地などを保全しながら、都心への高次都市機能の集積、市内7地域の地域中心への都市機能、生活サービスの誘導などにより、投資効率の高いコンパクトな市街地形成につとめます。

#### 5章「人と文化をはぐくむ誇れるまち」

##### 第1節 文化の創造

文化遺産を保存し、活用する環境の計画的な整備と、市民協働による歴史や文化をいかしたまちづくりと文化の担い手づくりを進めます。

多様化する文化活動のニーズに対応できる環境整備と、地域の人材や文化関係団体との連携により市民の文化の振興に取り組みます。

### 【秋田市中心市街地活性基本計画（H20.7 制定）から】

#### ○中心市街地の活性化に関する基本的な方針（P47）

中央街区内を始め、旭川をはさんだ大町、通町そして川反地区との相互回性を確保することで、一体的区域として、人が住み、集い、買い物などで賑わう、中心市街地本来の姿を取り戻すことを目指すものである。

これはまさに、千秋公園（久保田城跡）と連携した多機能集客ゾーンの形成により、中心市街地を新たな城下町と見立て、その再生を図ることである。（城下町ルネサンス）

千秋公園を都市の風格の象徴とし、中心市街地固有の歴史・文化資源を活かしながら新たな機能を誘導し、有機的に結びつけることで、生活しやすく、賑わいのある新しい中心市街地づくりを目指す。

#### ○都市福利施設を整備する事業に関する事項（P101）

##### 事業の必要性

##### 【教育文化施設】

教育文化施設については、中心市街地に近接して教育施設が概ね充足しているが、一部老朽化している施設があるため、建て替えなどが必要となっている。

中心市街地外にある既存の施設については、建て替え時に中心市街地内への整備を優先的に検討することとし、今後必要に応じて新たな教育文化施設の整備を検討する。

## 最近整備された県立文化施設の概要

名称	兵庫県立芸術文化センター 「グランドアクト」	鳥根県立芸術文化センター 「グランドアクト」	長崎県シーサイドホール 「アルカスASEBO」	静岡県コンベンションアーツセンター 「グランシップ」	大分県立総合文化センター	滋賀県立芸術劇場 「びわ湖ホール」	静岡県 「アクトシティ浜松」	静岡市清水文化会館 「マリナート」	福島県いわき芸術文化交流館 「アリオス」
延床面積	33,145㎡	19,252㎡	22,582㎡	60,360㎡	38,309㎡ (12,296㎡ 複合全体)	29,264㎡	80,792㎡	11,535㎡	27,547㎡
建築面積	10,530㎡	14,000㎡	6,986㎡	13,647㎡	215億円	13,960㎡	20,557㎡	5,591㎡	9,182㎡
開館年	平成17年度	平成17年度	平成12年度	平成10年度	平成10年度	平成10年度	平成6年度	平成24年度	平成19年度
総事業費	200億円 ※用地取得費を除く ※阪神淡路復興支援事業	140億円 ※用地取得費を除く	162億円 ※用地取得費を除く	建設費 496億円 用地費 210億円	215億円 ※用地は旧県立厚生学院用地	227億円 ※用地取得費を除く	665億円 ※用地取得費を除く	126億円(建設・維持管理15年) ※用地取得費を除く	181億円(建設・維持管理15年) ※用地取得費を除く
施設概要	地上5階、地下1階 2001席 オペラハウスに近い形状(クラシック系利用)	地上2階、地下1階 1500席 多目的ホール	地上4階、地下1階 2,000席 多目的ホール	地上12階、地下2階 4,600席 多目的ホール	地上6階、地下2階 1,966席 多目的ホール	地上4階、地下2階 1,848席 多目的ホール オペラハウス(ボビュラーにも使用)	地上4階、地下2階 2,336席 多目的ホール	地上4階、地下1階 1,513席 多目的ホール	地上6階、地下2階 1,840席 多目的ホール
大ホール									
中・小ホール	中ホール 800席 小ホール 417席	小ホール 400席	中ホール〔音楽専用〕 500席 イベントホール350席	中ホール 1209席 会議ホール 500席 交流ホール 400席 映像ホール 99席 静岡芸術劇場401席	中ホール 710席	中ホール 804席 小ホール 323席	中ホール 1,030席	小ホール 292席	中ホール 687席 小ホール 233席 音楽少ホール 200席
練習室、楽屋等	リハーサル室(2室) スタジオ(5室) 楽屋(12室)	スタジオ(2室) 楽屋(12室)	リハーサル室(2室) 練習室(3室) 楽屋(15室) 特別・大中小会議室(7室)、茶室、和室	リハーサル室(1室) 練習室(4室) 楽屋(25室) 会議室(19室)	リハーサル室(1室) 練習室(9室) 楽屋(17室) 中会議室(2室) 小会議室(4室)	リハーサル室(1室) 練習室(3室) 楽屋(25室)	リハーサル室(17室) 練習室(3室) 楽屋(18室) コングレスセンター内に会議室(13室)	リハーサル室(1室) 練習室(2室) 楽屋(10室)	リハーサル室(2室) 練習室(6室) 楽屋(23室)
会議室等	特別・大中小会議室(7室)、茶室、和室	特別・大中小会議室(7室)、茶室、和室	特別・大中小会議室(7室)、茶室、和室	中会議室(2室) 小会議室(4室)	中会議室(2室) 小会議室(4室)	研修室(1室)	研修室(1室)		稽古場 作業室
その他	交流スクエア(展示用等) 展望レストラン カフェレストラン 佐世保市男女共同参画センター	多目的ギャラリー ミュージアムショップ レストラン	屋外イベント広場 展示ギャラリー 展望ロビー 情報ラウンジ レストランカフェ 県立図書館	映像小ホール 県民ギャラリー 国際交流プラザ 文化情報ラウンジ	映像小ホール 県民ギャラリー 国際交流プラザ 文化情報ラウンジ	舞台芸術情報サロン レストラン フアラウンジ	コングレスセンター 展示イベントホール 研修交流センター 浜松市楽器博物館	一時保育室 ギャラリー カフェ	ラウンジ キッズルーム ウォールギャラリー ショップ ダイニングカフェ
備考	直接整備 4面舞台 W20m、D17.5m、H13m 佐世保地域交流施設 (佐世保市)併設	直接整備 3面舞台 W18m、D19m、H11m 鳥根県立岩見美術館 併設	直接整備 平戸開式 W34.8m、D18m、H- 佐世保地域交流施設 (佐世保市)併設	直接整備 4面舞台 W21.5m、D23m、 H15.5m	直接整備 2.5面舞台 W20m、D14m、H13.6m OASIS広場21、オアシスタワー(ホテル、オフィス、商業施設)合築	直接整備 4面舞台 W18.2m、D- H14.4m オーケストラホール、イホール浜松合築	直接整備 4面舞台 W18.0m、D17m、 H14.1m	PFに上りの整備 2.5面舞台 W18.1m、D14.6m、 H15m	PFに上りの整備 2.5面舞台 W18.0m、D17m、 H14.1m

## 全国公立文化施設一覧(メインホール2,000席以上)

No.	名称	所在地	竣工年月日	建設費※ (百万円)	敷地面積 (㎡)	建築延面積 (㎡)	メイン ホール	サブ ホール	付属施設			
									リハ室	会議室	展示室	楽屋
1	札幌コンサートホール	札幌市	H9.2.28	19,100	211,740	20,746	2,020	459	3			18
2	青森市文化会館	青森市	S57.9.30	7,200	9,916	22,550	2,031		1	6	1	6
3	郡山市民文化センター	郡山市	S59.9.30	7,570	9,900	19,694	2,004	806	3	5	1	14
4	宇都宮市文化会館	宇都宮市	S54.9.30	4,500	33,102	16,978	2,006	504	3	6	1	9
5	埼玉県産業文化センター	さいたま市	S63.4.8	12,380	17,483	130,885	2,515	496	4	30	5	14
6	川口総合文化センター	川口市	H2.4.30	14,913	7,000	35,875	2,634	606	7	5	1	9
7	さいたま市文化センター	さいたま市	S60.6.10	8,320	16,344	20,872	2,206	344	4	5	1	9
8	所沢市民文化センター	所沢市	H5.11.1	16,500	22,199	29,000	2,015	814	3	4	2	16
9	東京文化会館	台東区	S36.3.31	1,630	10,370	22,568	2,317	653	8	5		19
10	日比谷公会堂	千代田区	S4.10.19	3	—	6,032	2,085					
11	東京国際フォーラム	千代田区	H8.5.31	165,000	27,000	約145,000	5,012	1,502	1	34	1	28
12	渋谷公会堂	渋谷区	S40.1.31	728	3,305	8,150	2,084		1			5
13	府中の森芸術劇場	府中市	H3.2.28	15,391	16,288	31,088	2,027	510	7	3		16
14	神奈川県立県民ホール	横浜市	S49.10.15	4,653	10,946	28,476	2,488	433	1	2	5	10
15	横浜みなとみらいホール	横浜市	H9.6.30	寄付受納	—	18,688	2,034	444	7			16
16	河口湖ステラシアター	富士河口湖町	H7.4.28	1,165	12ha	2,140	3,018	200				3
17	長野県県民文化会館	長野市	S57.10.31	8,000	25,926	22,283	2,173	1,370	1	4	1	18
18	長野県松本文化会館	松本市	H4.5.15	7,046	20,902	16,497	2,010	746	1	5		11
19	アクトシティ浜松	浜松市	H6.7.31	66,462	30,970	80,792	2,352	1,046	17	23	1	18
20	富士市産業交流展示場	富士市	H20.4.1	680	39,859	5,818	2,400	180		3		3
21	富山市芸術文化ホール	富山市	H8.9.22	17,000	8,628	24,255	2,200		1			14
22	愛知芸術文化センター	名古屋市	H4.6.30	62,860	18,173	109,062	2,500	2,082	3	9	18	37
23	名古屋市市民会館	名古屋市	S47.6.30	3,771	14,205	28,245	2,296	1,149	2	3		32
24	名古屋国際会議場	名古屋市	H1.4.28	39,200	98,168	72,165	3,012		2	25	2	
25	京都会館	京都市	S35.4.29	808	15,579	18,745	2,015	939		6		14
26	大阪国際会議場	大阪市	H11.12.24	57,000	9,932	67,545	2,769			26	1	8
27	兵庫県立芸術文化センター	西宮市	H17.5.31	20,000	13,227	33,144	2,001	800	7			25
28	神戸文化ホール	神戸市	S48.7.31	2,200	10,845	18,604	2,043	904	6	1		14
29	白浜会館	白浜町	S(41.2)	—	19,500	—	3,000					
30	鳥取県立県民文化会館	鳥取市	H5.5.31	13,000	28,994	19,316	2,000		5	6	1	10
31	米子コンベンションセンター	米子市	H10.1.31	13,900	17,661	18,595	2,004	300	1	9	1	8
32	岡山シンフォニーホール	岡山市	H3.9.11	5,700	4,621	10,054	2,001					11
33	アルファあなぶきホール	高松市	S63.7.30	15,500	11,240	27,820	2,001	807	5	5		16
34	愛媛県県民文化会館	松山市	S61.3.31	20,200	23,581	41,651	3,000	1,600	4	10		27
35	福岡サンパレスホテル&ホール	福岡市	S55.12	7,097	15,819	24,372	2,322		1	6		9
36	長崎ブリックホール	長崎市	H10.1.31	12,265	15,896	21,899	2,062	542	4	5	1	10
37	アルカスSASEBO	佐世保市	H12.9.30	15,200	10,453	22,598	2,010	854	5	4	1	17

※用地取得費は除く

県内公立文化施設一覧（メインホール 500 席以上）

No.	名称	所在地	竣工年月日	敷地面積㎡	延面積 ㎡	メインホール 座席 数	H24 稼働 率
1	秋田県民会館	秋田市	S36. 9. 30	13, 225	5, 780	1, 839	74. 4
2	秋田市文化会館	秋田市	S55. 4. 30	3, 848	14, 284	1, 188	73. 5
3	湯沢市湯沢文化会館	湯沢市	S54. 9. 30	11, 659	5, 970	1, 303	38. 2
4	横手市民会館	横手市	S43. 7. 1	8, 502	3, 359	930	42. 0
5	由利本荘市文化交流館	由利本荘市	H23. 12. 19	13, 335	11, 750	1, 124	57. 6
6	能代市文化会館	能代市	S55. 6. 30	37, 072	4, 943	1, 181	54. 2
7	男鹿市民文化会館	男鹿市	S55. 10. 1	15, 117	5, 855	1, 012	34. 0
8	大館市民文化会館	大館市	S57. 2. 25	16, 648	6, 381	1, 198	40. 5
9	仙北市民会館	仙北市	S55. 9. 30	9, 691	2, 803	1, 024	33. 0
10	北秋田市文化会館	北秋田市	H3. 3. 20	6, 713	3, 613	615	66. 0
11	大仙市大曲市民会館	大仙市	H6. 3. 15	4, 262	4, 489	1, 011	70. 0
12	秋田県児童会館	秋田市	S55. 3. 25	3, 943	5, 673	782	48. 9
13	大仙市協和市民センター	大仙市	H10. 12. 1	23, 591	4, 614	501	34. 0
14	大仙市中仙市民会館	大仙市	H15. 3. 12	14, 603	4, 573	536	69. 0
15	秋田県総合生活文化会館	秋田市	H1. 10. 11		県分 8, 597	700	83. 1

## 文化施設調査の概要

No.	施設名	施設概要	施設の特徴
1	長野県松本文化会館 (キッセイ文化ホール)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・H4.7.18開館</li> <li>・大ホール(2000)</li> <li>・中ホール(746)</li> <li>・楽屋11</li> <li>・国際会議室</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小澤征爾が総監督を務める「SAITO KINEN FESTIVAL」のオーケストラコンサートの会場</li> <li>・中ホールがロールバック式チェアで、収納すれば900㎡の平土間となり、多目的利用が可能</li> </ul>
2	島根県立芸術文化センターいわみ芸術劇場 (グラントワ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・H17.10.8開館</li> <li>・大ホール(1500)</li> <li>・小ホール(400)</li> <li>・県立石見美術館併設</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・美術館と劇場が一体となった施設</li> <li>・地元特産の石州瓦を用いた目を引く外観</li> <li>・駐車場からホール内まで段差ない完全バリアフリー施設</li> <li>・伝統芸能石見神楽公演</li> <li>・館所属楽団、合唱団</li> </ul>
3	鳥取県立倉吉未来中心	<ul style="list-style-type: none"> <li>・H13.4.21開館</li> <li>・大ホール(1503)</li> <li>・小ホール(310)</li> <li>・アトリウム</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・倉吉パークスクエアという文化・観光・産業・娯楽等の機能を中心とした様々な施設を備えた複合文化施設内にある。</li> <li>・県有文化施設が鳥取市、米子市にもあり、3施設目として建設</li> </ul>
4	米子コンベンションセンター	<ul style="list-style-type: none"> <li>・H10.4.29開館</li> <li>・大ホール(2004)</li> <li>・小ホール(300)</li> <li>・国際会議室</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・駅から徒歩5分、周辺にホテルもあり、コンベンション誘致の条件が整っている</li> <li>・大ホールのすべての客席が床下に収納でき、平土間として使用可能。</li> <li>・コンベンション施設として大小様々な会議室(9室)を備えている</li> </ul>
5	ホルトホール大分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・H25.7.20開館</li> <li>・大ホール(1201)</li> <li>・小ホール(202)</li> <li>・会議室17</li> <li>・図書館、福祉子育て施設併設</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化、教育、福祉、健康、産業、情報、交流の7分野が連携する超複合施設。ケーブルテレビのスタジオ、民間テナントも入居</li> <li>・広めのエントランスは両ホール兼用で、小ホールと一体となった利用が可能</li> <li>・音響調整室、楽屋廊下、大小ホール同時中継設備、共用エントランスなど随所に工夫がされている</li> </ul>
6	兵庫県立芸術文化センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>・H17.10.22開館</li> <li>・大ホール(2141)</li> <li>・中ホール(800)</li> <li>・小ホール(417)</li> <li>・楽屋25</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大・中ホールは主催事業等で埋まり、貸し館は小ホールのみ</li> <li>・演歌やポップスのコンサート、コンベンション利用は一切無い、舞台芸術のための専用ホール</li> <li>・兵庫県立芸術文化センター管弦楽団による定期公演ほか年間300公演</li> <li>・芸術監督に佐渡裕氏を招聘</li> <li>・わくわくオーケストラやアウトリーチ事業多数</li> </ul>



## プロモーター等インタビュー調査の概要

仙台を拠点に東北各県でのコンサートを企画しているプロモーター、国際会議、学術会議などのコンベンションを企画運営する会社や旅行会社等を対象に、県民会館を中心に現有施設の問題点や、新たな文化施設に期待（希望）する規模や機能などについて、聞き取り調査を行った。主な意見は次のとおりである。

### 県民会館に対する共通の意見

- 舞台の奥行き及び高さが十分ではないため、コンサートなどで大掛かりな舞台セットは組めず、縮小版のセットで対応せざるを得ない
- 出演者の多いときは楽屋が足りず、会議室を代用しているが、観客との動線が重なり運営に支障がある
- 搬入口の駐車スペースが狭く、トラックの取り回しに苦慮しているほか、荷捌きスペースも狭く、搬入搬出に時間を要する
- エントランスが狭く、観客の待機場所ないほか、館外でイベント関連商品を販売している状況である。

### 新たな施設整備に当たっての文化イベントのプロモーターの意見

- 大ホールの座席数については、複数の意見があり、1,800 から 2 千数百席の範囲となっている
  - ・秋田の市場を考えると 1,800 席程度が望ましい
  - ・有名アーティストの全国ツアーは、2,000 人規模のホールを基本にセットを組んでいる
  - ・国内外の著名音楽家を招聘したコンサートを可能とするためには、2 千数百席程度が必要
- 演劇の場合、舞台と客席との距離が遠くなる大ホールより、舞台の感動が届けることができる 1,000 席程度のホールが欲しい
- 舞台については、10 間四方（18m×18m）が最低でも必要
- 11 トントラック（12m×2.5m）3 台が同時に荷捌きできる搬入口が理想であり、機材の多くは水に弱いいため、屋根付き、または直接施設内へ乗り入れできる構造が良い
- 楽屋は少人数用（シャワー、トイレ付き）5 部屋、大人数 3 部屋は必要
- 東北全域で、設備が整った会場は不足しており、秋田に新しい文化施設ができれば、これまで以上にコンサート等の開催本数は増える

### 旅行会社、コンベンション会社等の意見

- 全国会議・大会の誘致には、2,500～3,000 席の収容能力が必要
- 3,000 人規模（1 日最大 1,500 人）の学術学会では、参加者全員が全体会に参加することはないので、大ホールで 1,000 人程度の総会を開催でき、同一施設内の数カ所で分科会を開催できる施設であれば良い
- 把握している限りでは、3,000 人以上の大規模な学術学会は仙台市内でも年 5 件程度である

# 東北6県の主な文化施設の駐車場の設置状況

平成25年10月調査

県	施設名	建設	大ホール 席数	専用駐車場			立地条件	共用駐車場	近隣民間 駐車場	施設管理者からの 聞き取り調査結果
				地上	地下	合計				
青森	青森市文化会館	S57	2,031		114	114	【市街地】青森駅から タクシー10分	なし	680	近隣に民間駐車場が多く、苦 情はない
	青森市民ホール	H13	989		34	34	【市街地】青森駅から 徒歩3分	なし	260	駅に近く、民間駐車場も周辺 にあり、苦情はない
岩手	岩手県民会館	S48	1,991	43		43	【市街地】盛岡駅から タクシー15分	なし	370	ホール定員から近隣駐車場を 含めても不足に感じるが、苦 情はない
	盛岡市民文化ホール	H9	1,516			0	【市街地】盛岡駅から 徒歩3分	複合施設内の立体 共用294台（有料）	800	駅に近く、民間駐車場も周辺 にあり、苦情はない
宮城	宮城県民会館	S39	1,596		10	10	【市街地】仙台駅から タクシー7分	なし	300	地下鉄駅から近く、車で来場 する人がほとんどいない
	仙台サンプラザホール	H3	2,054			0	【市街地】仙台駅から タクシー5分	隣接ホテルと地下 共用120台（有料）	未把握	イベント主催者には公共交通 機関利用の呼びかけをお願い している
山形	山形県民会館	S37	1,500			0	【市街地】山形駅から タクシー10分	近隣県営駐車場300 台（有料）	未把握	専用駐車場がないが、苦情は ない
	酒田市民会館	H16	1,287	182		182	【市街地】山形駅から タクシー5分	市役所共用217台 （無料）	400	施設利用者が無料となるよう 民間駐車場と契約している
福島	福島県文化センター	S45	1,758	450		450	【郊外】福島駅からバ ス15分、+徒歩7分	市音楽堂と相互協 力	0	バスの便が悪く、バス停から も遠いため、車利用者から苦 情が多い
	福島市音楽堂	S59	1,002	147		147	【郊外】福島駅からバ ス15分	県文化センターと 相互協力	0	福島競馬場の駐車場の借りる など対応に苦慮している
秋田	秋田県民会館	S36	1,839	100		100	【市街地】秋田駅から 徒歩15分	なし	700	専用駐車場が少ないことは理 解されているが、要望はある
	秋田市文化会館	S55	1,188	215		215	【市街地】秋田駅から バス15分	市営八橋球場(114 台)と相互協力	0	官庁街に近く、八橋運動公園 もあり、要望は少ない



発行／平成26年3月 秋田県・秋田市

秋田県観光文化スポーツ部文化振興課

TEL018-860-1530

FAX018-860-3880

秋田市企画財政部企画調整課

TEL018-866-2032

FAX018-866-2278